
開講科目名：租税法研究Ⅲ（B）（2単位）
開設年次：1年 2年
開設学部：法学研究科修士課程法学専攻
担当者：山田 麻未

《授業の概要》

1. 授業の概要

授業の目的

租税法の基本的な考え方を理解し、税制が変わっても実務で長く使えるようその構造を把握する。租税法における基本的なアプローチを確認し、なぜそのような考え方や取扱いになるのかについて講義し、修士論文作成のための基礎力を養成する。

授業の進め方

本授業の内容は、講義とグループディスカッション、小レポートで構成されている。租税法上の重要な項目について、その理論と課題を理解するため、重要判例を取り上げる予定である。授業を通じて、応用の効く基礎学力の養成を目指す。

授業内容（B）後期

- 第16回 イントロダクション
- 第17回 各種所得の意義
- 第18回 担税力について
- 第19回 所得概念
- 第20回 借入金の取扱い
- 第21回 心理的満足とフリンジベネフィット
- 第22回 通達課税の是非
- 第23回 一時所得について
- 第24回 必要経費と家事費・家事関連費
- 第25回 ふるさと納税の返礼品と一時所得
- 第26回 租税行政の組織
- 第27回 税務行政の実状と課題
- 第28回 国税不服審判所の役割
- 第29回 国税庁の任務と税理士の役割
- 第30回 まとめ

2. 評価方法

試験に代わるレポート、出席及び授業への取り組み等で評価する。

《テキスト》

金子宏ほか編『ケースブック租税法（第5版）』（2017年、弘文堂）
中里実ほか編『租税判例百選（第6版）』（2016年、有斐閣）
中里実＝増井良啓編『租税法判例六法〔第4版〕』（有斐閣、2019年）
その他、講義の中で適宜紹介する。

《参考書》

金子宏『租税法〔第23版〕』（弘文堂、2019年）
岡村忠生ほか『租税法』（有斐閣、2017年）
清永敬次『税法〔新版〕』（ミネルヴァ書房、2013年）
佐藤英明『スタンダード所得税法〔第2版補正2版〕』（弘文堂、2020年）
谷口勢津夫『税法基本講義〔第6版〕』（弘文堂、2018年）
中里実ほか編『租税法概説〔第3版〕』（有斐閣、2018年）
増井良啓『租税法入門〔第2版〕』（有斐閣、2018年）

渡辺徹也『スタンダード法人税法〔第2版〕』（弘文堂、2019年）
谷口勢津夫ほか『基礎から学べる租税法〔第2版〕』（弘文堂、2019年）